

## 技術支援成果事例

# 作業難易度が高い環境を再現できる手術技能練習キットの開発 ～ Swing Disk Trainer ～

### ■ 概要

山口大学で開発された新しい術式※1の習得を目的にしたトレーニングキットを開発しました。

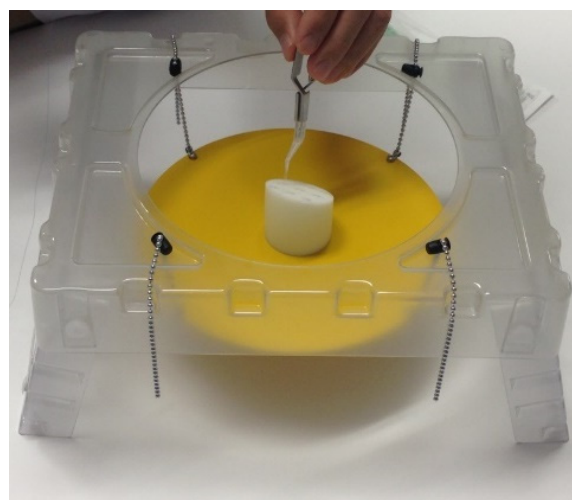
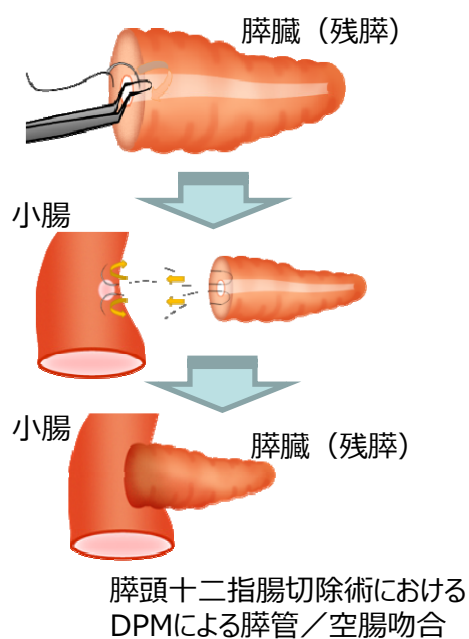
腹腔内などの手指の動きが制限される環境で、固定が不安定な臓器などの縫合、吻合※2、切開などのトレーニングが可能な簡易キットです。

※1 DPM法：Duct Penetrating Method（細径管貫通式縫合糸配置法）

※2 吻合：管状・袋状の臓器を互いに手術でつなぎ合わせる

### ■ 支援の項目

- ① 医療現場ニーズ調査、開発テーマ探索、医療機器メーカーとのマッチング
- ② 臓器モデルの素材選定・製作支援
- ③ 開発資金の獲得支援（シナリオ作成支援）



開発したDPMトレーニングキット  
「Swing Disk Trainer」

### ■ 支援の成果

- ① 書棚等にコンパクトに収納でき、腹腔内の限られた空間を再現しながらデスクトップで手軽に手技の確認、およびトレーニングができます。
- ② 手術器具とセットで販売することで、難易度の高い手術をより安全に執刀できるようになります。

担当職員 イノベーション推進センター医療関連推進チーム

支援企業：株式会社ヤナギヤ（宇部市）  
株式会社ジェイエムエス（広島県）  
山口大学医学部医学科消化器腫瘍外科